

人を大切に、世界に誇る佐賀へ向かって

歴史を動かした唯一無二の地、佐賀県。
佐賀には先人たちが積み上げ、磨き上げてきた、世界に誇るべき「本物」があります。
文化、伝統、自然、食。この宝がさらに輝きを増すように、一人一人がそれぞれ輝けるように、佐賀県は新たなチャレンジを続けてきました。

昨年のSAGA2024国スポ・全障スポでは、スポーツのチカラを活かした新しい地域の姿を日本中に示しました。「SSP構想」のさらなる推進、佐賀県立大学(仮称)の開設や山の博覧会(仮称)など、中長期的な取り組みは着実に進んでいます。

今年度も、吉野ヶ里歴史公園が歴史的価値を届ける体験型施設への進化や、世界初の施設「世界海洋プラスチックプランニングセンター」の整備など、時代を見据えた、佐賀だからできる取り組みが目白押しです。

これからも、生み出される政策が県民の皆さんに届き、幸せに前を向いて楽しく暮らしていける新しい佐賀の姿(ビジョン)を描いていきます。

この冊子から佐賀さいこうの現在地を感じ取ってもらえると嬉しく思います。

世界に誇る佐賀に向けて、さが新時代をともに創っていきましょう！

佐賀県知事 山口 祥義



CONTENTS — 目次 —

令和7年度県の主な取り組みの紹介

創ろう！

佐賀らしい文化の創造 P3

スポーツ新時代の創出 P5

育もう！

かかわりあう子育て 笑顔あふれる未来 P7

志そう！

志を胸に 骨太な人材の育成 P9

守ろう！

くらしと環境を守り 住みよいまちづくり P11

支えよう！

支え合い、寄り添う やさしい地域 P13

輝こう！

地域の想いを大切に 本物の価値を磨く P15

挑もう！

新たな価値を生み 挑戦を続ける産業 P17

交わろう！

動き出す 人とモノをつなぐネットワーク P21

政策推進 の視点



さがすたいる
さがらしい、やさしさあふれる

多様な人々が交流し相互理解を深めることにより、年齢、性別、国籍、障がいの有無等に関わらず、みんながしげんに支え合い、心地よく過ごせるやさしさのカタチを広めていきます。



さがデザイン
さがをみがく、しくみ

行政にデザインの視点を取り入れ、「見た目をよくすること」だけではなく、地域や事業等が抱える課題を的確に捉えて解決に導くなど、施策を総合的にデザインしています。

県政運営のキーワード

現場

現場の人の想いが実現され、人が現場で輝いていること

ミッション

本来の目的を忘れることなく、何のためにやっているのかという目的意識を常に持って行動すること

プロセス

政策や事業を決定していく場合、県民の声を聴き、そして県民と議論を重ねることで信頼関係をつくること